

ベストプラクティス企業のご紹介

11月の「**過重労働解消キャンペーン**」の一環で、福岡労働局長が、11月19日（火）に、長時間労働の削減に積極的に取り組む『**西鉄建設株式会社**』をベストプラクティス企業に選定し、同社の「**白木原駅店舗開発工事**」を訪問しました。建設業の働き方改革について、国土交通省九州地方整備局、及び発注者の西日本鉄道株式会社も交えて意見交換を行いました。

西鉄建設株式会社 会社概要

本社所在地：福岡市中央区大手門2丁目1番10号
代表者氏名：代表取締役社長 宮崎 裕二
資本金：4,000万円
労働者数：77名（2024年4月1日現在）
事業内容：建築業、ハウジング業、広告業、不動産業



西鉄建設株式会社

働き方改革に関する主な取組内容

① 4週8閉所^(※)による施工

- ・ゆとりをもたせた工期を受注要件として時間外・休日労働を削減
- ・協力会社の長時間労働削減にも貢献

(※) 建設現場において、4週間のうち8日間の現場休日（閉所日）を設けること。

② DX・ICT推進

- ・勤怠管理ソフトによるリアルタイムな出退勤時間、超過勤務時間の把握
- ・現場管理ソフト、現場WEBカメラ設置等のほか、WEB会議システムによる移動時間、打合せ時間の縮減

③ 荷待ち時間の縮減

- ・工程の適切な管理により資材等の搬入、搬出時間を調整し、トラック運転者の荷待ち時間を縮減



意見交換

福岡労働局 小野寺 局長
九州地方整備局 伊東 建設産業調整官

西鉄建設株式会社 宮崎 代表取締役社長
西日本鉄道株式会社 石川 都市開発事業本部長

【福岡労働局 小野寺局長】

建設業でも4月から時間外労働の上限規制が適用されました。西鉄建設ではどのように労働時間の削減に取り組んでいますか。

【西鉄建設株式会社 宮崎代表取締役社長】

上限規制適用の数年前からDX・ICTを推進しています。

全現場に、現場管理ソフトやWEBカメラを導入し、打合せ時間や移動時間の短縮に繋がりました。また、勤怠管理ソフトを取り入れ、残業時間などがリアルタイムで把握できるようになりました。

発注者にもご理解を得て、「4週8閉所」の工程で工事契約を締結しています。



左から伊東調整官、小野寺局長、宮崎社長、石川本部長



【福岡労働局 小野寺局長】

建設業全体を見ると、若者離れが進んでいます。西鉄建設では時間外労働の縮減に積極的に取り組んでおられますが、人材確保の面などで良い影響がありますか。

【西鉄建設株式会社 宮崎代表取締役社長】

残業の削減や休日の増加だけではなく、有給休暇の取得促進やメンター制度の新設など魅力ある労働環境づくりに取り組んでいます。

その結果、新卒者や中途社員の採用に繋がり、離職者も減少しました。

現在では、20歳代の社員が全体の約3割を占めるようになり、若手社員が切磋琢磨して、日々の業務に取り組んでいます。

【福岡労働局 小野寺局長】

建設業で時間外労働を削減するためには、発注者の協力が不可欠と考えられます。発注者である西日本鉄道の具体的な取組についてお聞かせください。

【西日本鉄道株式会社 石川都市開発事業本部長】

開発計画の策定段階から、休日の増加や天候不良等を考慮したゆとりあるスケジュールで計画を進めています。

グループ会社か否かを問わず、「4週8閉所」を考慮した工期設定で工事費用に反映しています。



【4者での写真撮影】

左から伊東調整官、石川本部長、小野寺局長、宮崎社長